

大樹航空宇宙ボランティアサークル

活動レポート Vol.2 (2025.10)



北海道宇宙サミット2025に参加しました！



10月8日(水)から10日(金)の3日間、帯広市で開催された北海道宇宙サミット2025に参加してきましたので、その様子を紹介します。

Day1 夜のレセプションから参加しました。和歌山研修の際に交流した和歌山県串本古座高校生との再会を喜びとともに、初めて会う鹿児島県楠隼高校生ともすぐに打ち解けました。また、海外の方からも声をかけていただき交流を深めました。宿泊先では、2日目・3日目の発表に向けて、最終調整を行いました。最後まで妥協しないのが当サークルの持ち味です！



レセプション



最終調整

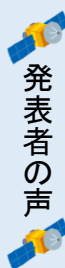
Day2 午前は受付等のボランティア活動を中心に行いました。午後には海外宇宙港と高校生の交流会が行われ、本校、串本古座高校、楠隼高校がアメリカ・イギリスの専門家に英語で活動紹介をしました。また、専門家からの質問や、専門家への質問を行い、宇宙港ビジネスについて理解を深めました。夜はミートアップに参加し、様々な参加者と意見を交わすことができました。



ボランティア



英語での発表



発表者の声

結果の良し悪しにかかわらず発表できたことや、それまでにしてきた努力は必ず今後の糧になっていくし、もしまた同じような機会があれば積極的に手を上げて、より良い発表ができたと思います。(1年)

聞いている人が聞きやすいような雰囲気意識して発表することができました。海外宇宙港の専門家と交流ができ、とてもよい勉強ができました。これからも積極的に頑張っていこうと思います。(2年)

発表前まではそれほど緊張していなかったのですが、他校の発表を聞いてとても緊張しました。なるべく原稿を見ないようにと思っていましたが、単語が読めなくなるなど軽くパニックになりました。次はそうならないように気を付けたいです。ミートアップで専門家の方に「発表よかった」と褒めてもらったのがとても嬉しかったです。この経験をどこかで生かしたいです。(2年)

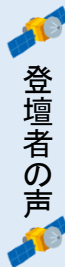
Day3 「高校生が語る宇宙産業の学びと発見」をテーマにトークセッションが行われ、本校、串本古座高校、楠隼高校、大分県国東高校(オンライン)が登壇しました。各校それぞれから取組を発表するとともに、和歌山大学教授 秋山 演亮 様、トヨタ自動車 Executive Fellow 河合 満 様、慶應義塾大学大学院教授 白坂 成功 様から講評をいただきました。



登壇・発表



講評



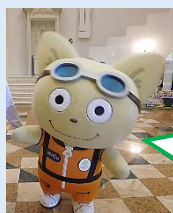
登壇者の声

発表することができて、私はとても成長できたと感じています。次に繋げたい課題と改善点を沢山見つけることができ、自分の中で発表に対する壁が低くなりました。スライド完成までの道のりを含め、学びが多くありました。(1年)

大勢を前にして最初こそ緊張していましたが、話していくにつれて緊張が和らぎ、最後は自分の言葉で話す事ができました。また、準備期間では、伝わりやすいスライドにするための文字や配置等、今後活かせる事も学ぶ事ができました。(2年)

自分たちのこれまでの活動やこれからしていきたい活動を多くの参加者の前で発表してみて、私たちがいかに周りの人に支えられていたのかを改めて実感できました。また、他校の発表を聞いて新しいことにも積極的に挑戦していきたいと思いました。(2年)

他にも、宇宙関連企業のブースを体験するなど、とても充実した3日間でした。ご支援いただいた大樹町、宇宙サミット実行委員会の皆様、ありがとうございました！



周りがあまり見えなくて少し怖かったのですがとても楽しかったです。疲れましたがよい経験になりました。着ぐるみに入ってる人はすごいなと感じました。また着れたらいいなと思いました。(1年)